

申3号「駅の体制見直しについて」に関する申し入れ 提出!

盛岡地本は9月20日に「駅の体制見直し」の提案を受け、組合員との議論を行ってきました。本施策は、釜石駅のご利用状況の減少傾向や社員数の減少等、取り巻く経営環境の変化等を踏まえ、効率的な業務執行体制を構築するために体制見直しを行うものとしています。さらに体制見直しと同時に「みどりの窓口」の営業時間が短縮となりますが、そもそも釜石駅はお客さまが窓口での購入が一定程度あり、まだまだ指定席券売機では対応しきれない現実であり「みどりの窓口」の営業時間短縮はサービスレベルを低下させると危惧しています。

また釜石駅はJR東日本で唯一「単独駅」として存在している職場であり、この間 NewDays の開店準備等の作業を行い、釜石駅として「融合と連携」を図ってきたものと認識しています。唯一の「単独駅」として存在している駅だからこそ、今後の釜石駅の将来展望を明らかにし、未来の見える体制見直しとならなければなりません。

施策を進めるにあたり、安全・サービスレベルは低下させてはならず、その前提は全社員の「安全・健康・ゆとり・働きがい・豊かさ」が担保された業務体制の構築が必要です。従って下記の通り申し入れをしました!

1. 駅の体制見直しに至った根拠と、安全・サービスレベルの維持・向上が図れる根拠を明らかにすること。
2. 釜石駅の現在員数の推移と、現行の作業ダイヤの詳細と改正となる作業ダイヤの詳細を明らかにすること。
3. みどりの窓口の営業時間を短縮できる根拠を明らかにすること。また、朝の通勤時間帯でもみどりの窓口で購入するお客さまもいることから、現行の7時20分からの営業開始とすること。
4. 体制見直し実施以降も安全・サービスレベルが維持・向上できる体制を構築すること。また、業務に必要な現在員数を確保すること。
5. 釜石駅はJR東日本管内で唯一「単独駅」として存在している職場のため、今後の釜石駅の将来展望を示すこと。

安全で働きがいのある職場をつくり出そう!